

オフィス?テレワーク?

ハイブリッドワーク 注意点と対策



はじめに

ハイブリッドワークは、柔軟な働き方を求める企業と従業員の間で急速に普及しています。オフィス勤務とテレワークを組み合わせることで、生産性の向上やワークライフバランスの改善を期待できますが、導入と運用にはさまざまな課題も。ハイブリッドワークを成功させる重要ポイントと、トラブルを予防・解決するための施策についてまとめたので、本資料が参考になれば幸いです。

ハイブリッドワーク5つのポイント	P4
ハイブリッドワークの注意点と対策① コミュニケーションの最適化	P5
ハイブリッドワークの注意点と対策② 評価制度の見直し	P6
ハイブリッドワークの注意点と対策③ セキュリティ対策の強化	P7
ハイブリッドワークの注意点と対策④ 労務管理の徹底	P8
ハイブリッドワークの注意点と対策⑤ オフィス環境の整備	P9
まとめ	P10

ハイブリッドワークを円滑化するために

1

コミュニケーション最適化

2

評価制度の見直し

3

セキュリティ対策の強化

4

労務管理の徹底

5

オフィス環境の整備

ハイブリッドワークを運営するのに必要な要素をそれぞれ詳しく確認していきましょう！



コミュニケーションの最適化

ハイブリッドワークでは対面とオンラインのバランスを適切に取ることが重要



✓ オンライン・オフラインの適切な使い分け

チームの業務内容や目的に応じて、対面とオンラインを使い分けることで、効率的なコミュニケーションが可能に。

✓ コミュニケーションツールの活用

チャットツール、ビデオ会議システム、プロジェクト管理ツールを適切に活用し、情報伝達をスムーズにする。

✓ 情報共有の徹底

会議の議事録を共有する、定期的な報告の場を設けるなど、透明性のある情報共有が必要。

評価制度の見直し

ハイブリッドワークでは従業員の成果を正しく評価する仕組みが不可欠



✓ 成果に基づく適正な評価

勤務時間ではなく、アウトプットや成果に基づいた評価制度を採用することで、公平性を確保す。

✓ 誰にでも分かりやすい評価基準

目標設定を明確にし、評価基準を共有することで、従業員のモチベーション向上。

✓ 定期的で親身なフィードバック

マネージャーと従業員の定期的な1on1ミーティングを実施し、業務進捗や課題について話し合う場を設けることが重要。

セキュリティ対策の強化

ハイブリッドワークではセキュリティリスクの管理が不可欠



✓ セキュリティポリシーの策定

テレワーク環境における情報セキュリティのルールを明確に定めることが求められる。

✓ セキュリティツールの導入

VPN、二要素認証、エンドポイントセキュリティなどのツールを活用し、情報漏えいを防ぐ。

✓ セキュリティ教育の実施

従業員向けのセキュリティ研修を定期的実施し、リスク意識を高めることが重要。

労務管理の徹底

ハイブリッドワークでは労働時間や業務状況の管理が複雑になるのを回避



✓ システム導入して勤怠管理を徹底

クラウド型勤怠管理ツールを導入し、適切な勤務時間の把握。

✓ 労働時間の上限設定

過重労働を防ぐため、残業目安などを設定。

✓ 誰でもすぐ相談できる窓口の設置

労務に関する悩みや問題を気軽に相談できる窓口を設け、従業員の心理的安全性を確保。

オフィス環境の整備

ハイブリッドワークに適したオフィス環境を整備することも重要



✓ フリーアドレスの導入

出社頻度の異なる従業員に対応し、柔軟な働き方を支援。

✓ オンライン会議用スペースの設置

ノイズを抑えたオンライン会議用の専用スペースを設置し、快適な環境を提供。

✓ コミュニケーションスペースの設置

対面での交流を促進するためのエリアを設け、チームや組織の連携を強化。

ハイブリッドワークは、適切な運用と管理が求められる働き方です。

本資料でご紹介した注意点や対策を実践すると、組織全体の生産性向上と働きやすい環境づくりが進んでいきます。

従業員の働きやすさの向上が、会社の業績UPにも繋がっていきますので、まずは少しずつでも環境を整備していくのがお勧めです。





運営	株式会社ファングリー
設立	2020年10月
代表者	松岡 雄司
所在地	東京都渋谷区南平台町15-13 帝都渋谷ビル5F
資本金	25,000,000円（資本準備金を含む）
従業員数	36名（2023年5月1日現在）